

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36101	アパレル商品論 Introduction to Apparel Items	長谷川 えり子	専門	2	選択	1・2年前期
科目の概要						
アパレル業界の流通について、ながれをとらえ、動向を知る。また、アパレル商品について、色、素材、かたち(デザイン)の面から概要をとらえる。さらに、購入後の取り扱いについても被服管理の方向から学び、製品の表示(サイズ、組成、原産国)の見方を学修する。着用している既製服について、問題点を見出し、課題解決する能力を身につける。ファッション分野の専門的知識を修得し、衣服の賢い選択、取り扱い(洗濯)などを日常生活の中で活用できるように実践的にとらえていく。						
学修内容			到達目標			
① アパレル商品の流通について、ながれと実状を解説する			① 生産から消費者の手元に届く流通のながれを把握し、売り上げ動向を捉えることができる			
② 色の基本から実際のアパレル商品の色の特徴について、配色カードによる実習を通して学修する			② 色の基本を捉え、色の対比効果、色彩心理、製品の染色方法と特徴を説明することができる。			
③ アパレル商品の素材について、繊維から布地までをとらえ、使用特性を学修する			③ 素材について、繊維から糸、布地、副資材の概要を知り、それぞれの特性を修得できる。			
④ アパレル商品の取り扱いについて、家庭洗濯と商業洗濯の実際をとらえ、表示の内容を解説する			④アパレル商品の取り扱い方法について、最適な洗浄、保管方法を知り、表示内容が理解できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	グループワークでは、積極的に役割を考えて取組み、能率良く作業を進める。教員が提示した能力要素を意識して、取り組む。試験では、授業のノートをしっかりまとめ上げ、積極的に取り組む				
	働きかけ力					
	実行力	色の対比効果演習、洗濯実習は、授業内容を日常生活の中で実践し、応用力を身につける。授業開始時に教員が提示した能力要素を意識して受講する				
考え抜く力	課題発見力	日常生活の中で衣服着用時の使い心地に疑問を持ちながら、授業内容と照らし合わせる				
	計画力					
	創造力	日常生活の中で既成概念にとらわれず、様々な使用特性に疑問を持ちながら考え、今後の衣生活のあり方について積極的に考える				
チームで働く力	発信力	グループワークでは、自分の意見を他のメンバーにわかりやすく伝える				
	傾聴力	教員の説明や他の学生の意見をしっかり聞き、自分の考えを述べる DVD視聴では、自分の意見や感想をまとめ上げる				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	提出物は期限を守る。講義は私語することなく受講する				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし 教員作成の資料により進める 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:ファッションビジネス論、ファッションコーディネート演習 資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
日常生活におけるアパレル製品に目を向けて、実際の使用特性について考えよう。また、アパレル製品売り場にも足を運び、商品構成や商品展開の現状をとらえよう。			「ファッション販売検定」受験予定者は、本授業内容をしっかり理解し、検定対策に活かしましょう。 課題プリントはていねいにわかりやすくまとめましょう。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	80	①	✓	筆記試験は、授業で解説した内容を中心に記述式で出題するので、毎回の授業を理解し、事後学習でしっかりまとめること。 学習した内容は、日常生活の中で実践(衣服の使用感、洗濯、衣服表示の確認など)し、応用力を身に付けておこう。 試験結果は、試験後に解説し、フィードバックする。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10		✓	(主体性)グループワークにおける取り組み姿勢を評価する (実行力)授業で学んだ内容を日常生活の場面で応用し、その結果をまとめたプリントの内容により評価する (課題発見力)ユニバーサルファッションの課題では、問題点をとらえ、自分の考えが記述されているか評価する (創造力)授業で学んだ知識を活かして、今後の衣生活のあり方について、自分なりの意見が記述されているかを評価する (発信力)わかりやすく考えをプリントにまとめて発言できているかを評価する (傾聴力)教員の話はしっかり聞き、板書やPP提示以外にも大事な点はノートにまとめられているか、DVD視聴の記録がしっかりまとめられているかを評価する (規律性)提出物は期限を守る。授業で必要な物は準備して受講しているか
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他	10	①	✓	授業で配布するプリントをわかりやすくまとめること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A:アパレル商品の種類とアイテムをとらえ、色、素材、かたち、取り扱い方法を正しく理解し、アパレル現場や日常生活の中で最適な使用提案ができる。 S:上記に加え、グループワークは意欲的に取り組み、積極的に意見を述べる姿勢が見られる。	B:アパレル商品の概要をとらえ、色、素材、かたち、取り扱い方法を正しく理解できる。 C:アパレル商品について、色、素材、かたち、取り扱い方法について、基本事項のみ捉えている。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	授業の進め方を説明する アパレル製品のながれを捉える 業界の流通について学修する	講義とDVD鑑賞 DVDの内容をプリントにまとめる。	アパレル商品とその流通のながれの概要が理解できる。	(予習)衣服調査用の服を選択する (復習)アパレルのながれを再度まとめる	100	傾聴力 創造力 規律性
2週 /	既製服の実態説明(輸出入、生産量、業界動向)と既製服の概要を調査する 準備-既製服(シャツ、スカート、パンツ、ジャケット、靴下の中から1~2点)	講義と演習(グループワーク) PPにより内容を解説し、グループワークで既成服の概要を調査し、プリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	実際の既製服について、色、素材、表示などを調べ、概要を理解することができる。	(予習)着用予定のアイテムを考えて揃える (復習)手持ちの服についてアイテム毎に枚数を調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力
3週 /	アパレル製品のカラー① 色の名称と三属性の基本事項について、配色カードを用いて学修する 準備-配色カード、はさみ、のり	講義と演習(個人ワーク) PPにより内容を解説し、個人ワークで配色カードをプリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	色の名称と三属性について、配色カードによる分類方法がわかる。	(予習)手持ちの服の色の特徴を観察し、プリントにまとめる (復習)身の回りの色の使い方を観察し、プリントにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力
4週 /	アパレル製品のカラー② 色の対比効果について、配色カードでの実習を通して学修する 準備-配色カード、はさみ、のり	講義と演習(個人ワーク) PPにより内容を解説し、個人ワークで配色カードをプリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	色の対比効果について、見え方の特徴が理解できる。	(予習)病院の手術着のカラーを調べる。 (復習)本日着用のスタイルから対比効果を確認し、特徴をまとめる。	180	主体性 実行力 規律性
5週 /	アパレル製品のカラー③ 色の配色効果と心理的効果について、配色カードとPPの解説より学修する。 準備-配色カード	講義 PPにより内容を解説する。実際に配色カードと照らし合わせて、内容を理解する。	アパレル製品に及ぼす色の配色効果について、心理的側面からとらえることができる。	(予習)自宅のインテリアの色味を観察し、プリントにまとめる (復習)色の心理効果について周りの色づかいをまとめる	180	主体性 傾聴力 課題発見力 創造力
6週 /	アパレル製品のカラー④ アパレル製品の色の付け方について、染色方法を学修する 準備-はさみ、のり	講義と演習(グループワーク) PPにより内容を解説し、グループワークでテキスタイル分解を行いプリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	アパレル製品の色の付け方について、様々な染色方法が理解できる。	(予習)手持ちの服の色の付け方を観察し、プリントにまとめる (復習)無地、柄物の特徴を調べる	180	主体性 実行力 発信力
7週 /	アパレル製品の素材① 天然繊維の種類を知り、形態と特性を学修する	講義とDVD視聴 PPにより内容を解説する。DVD鑑賞を通して、繊維の概要を理解する。	綿、麻、毛、絹について、繊維の形態や原料から特性が説明できる。	(予習)綿が使用されているアイテムを調べる (復習)繊維と服の特徴を検証し、まとめる	180	主体性 傾聴力 創造力
8週 /	アパレル製品の素材② 化学繊維の種類を知り、形態と特性を学修する	講義 PPにより内容を解説する。プリントに繊維の特徴をまとめ、提出する。	化学繊維について、繊維の形態や原料から特性が説明できる。	(予習)化学繊維が使用されているアイテムを調べる (復習)繊維と服の特徴を検証し、まとめる	180	主体性 傾聴力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	アパレル製品素材③ 糸の概要と布地の種類を学修する。布地の特徴については、テキスタイル分解演習を行う 準備—はさみ、のり	講義と演習(グループワーク) PPにより内容を解説し、グループワークで試料を準備し、プリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	各種テキスタイルを分解することにより、糸、布地の構成や組織について説明できる。	(予習)ミシン糸の太さと番手を確認し、明記する (復習)無地の服の色の観察を行い、色の付け方をまとめる	180	主体性 実行力 規律性
10週 /	アパレル製品の素材④ 副資材の種類を知り、裏地と芯地の使用目的を学修する	講義と演習 PPにより内容を解説し、実際の試料を、プリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	副資材の概要をとらえ、芯地と裏地について、用途や使用目的を理解する。	(予習)表地以外の材料の種類を書きだす (復習)裏地使用の服を観察し、アイテムを上げる	180	実行力 主体性 規律性
11週 /	アパレル製品のかたちについて、性別、年齢別の特徴を学修する	講義と演習 PPにより内容を解説し、プリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	アパレル製品のかたちについて、性別、年齢別の特徴を捉え、概要をとらえることができる。	(予習)家庭にある服で1アイテムについて特徴を調べる (復習)授業で学修したデザインの服を探し、特徴を調べる	180	主体性 傾聴力
12週 /	アパレル製品の管理① 衣服の汚れをとらえ、商業洗濯の実際を映像により学修する	講義とDVD視聴 PPにより内容を解説する。DVD鑑賞を通して、実際のクリーニング業務を理解する。	衣服に付着する汚れについて知り、洗浄方法(商業洗濯、家庭洗濯)の概要をとらえることができる。	(予習)衣服に付着する汚れを考える (復習)クリーニングに出している服を調査する	180	主体性 傾聴力
13週 /	アパレル製品の管理② 家庭洗濯のながれをとらえ、市販洗剤の種類を知る。洗剤の働きについて学修する	講義と調査 PPにより内容を解説する。洗剤の成分調査を行い、プリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	家庭洗濯における洗浄のプロセスを学び、洗剤の役割についてとらえ、洗浄方法がわかる。	(予習)自宅の洗濯機の概要、洗剤を調べる (復習)洗濯を実践する	180	主体性 傾聴力 課題発見力
14週 /	アパレル製品の表示について、取り扱い方法、サイズ表示について解説する	講義 PPにより内容を解説する。表示内容をプリントにまとめる。提出後、点検し、フィードバックする。	アパレル製品に付けられている法定表示について学び、正しい衣服の取り扱いが理解できる。	(予習)既製服の表示をプリントにまとめる (復習)既製服の表示と服の特徴を合わせて観察し、プリントにまとめる	180	主体性 傾聴力 発信力
15週 /	アパレル製品の今後のあり方について、グループ討議を行い、発表する	講義とディスカッション、グループ発表 環境に配慮した衣生活のあり方、ユニバーサルデザインについて、グループで討議し、発表する。	アパレル製品の消費動向を学び、今後の衣生活のあり方について考えることができる	(予習)環境に配慮した衣生活について課題をまとめる (復習)試験に向けて、授業全般の内容を確認し、ノートにまとめる	300	主体性 傾聴力 規律性 課題発見力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力